

2018金沢・能登半島ウォーキング

氏名：生島 敏明 職業：イベント企画・ツアー企画：ツアーコンダクター 都道府県：千葉県

まず今の金沢市内の状況から説明しますと新幹線開通以来、日増しに来沢の方々が増え、特に中心部の近江町市場、21世紀美術館、ひがし茶屋街は人出が、浅草仲見世の賑わい、上野アメヨコの賑わいにも似た状態で、特に土日、祭日は、動きが取れません。そのため今回は、平日にプランを作成しました。日本ワンダーフォーゲル会に金沢・能登半島ウォーキングと題して企画提案いたしまして8名の参加をいただきました。過去にも企画しました金沢市内の場所は今回避けて、観光バスや比較的観光客が行かないところを中心にプランを企画した。生島ツアーズのスタートである。



初日 天候晴れ。9：55定刻に金沢駅に集合、男性3名、女性5名、にて10時バスにてスタート、10：15香林坊下車。まず正面の日銀金沢支店の建物を見て歩き開始。金沢市役所前、元石川県庁跡、正面入り口の天然記念物の巨木椎の木を観察。兼六園入り口横を通過、10：40金城霊沢、湧泉、井戸のようになっている。ここは昔、芋ほり藤五郎という男が芋を洗ったら砂金が出てきたことから“金洗いの沢”と呼ばれ金沢の地名発祥の地である。次に金澤神社へ前田家の先祖を祭り、前田家が祝い事のたびにひとつずつ奉納したという縁起の良い鳥居を通過、金沢でパワーチャージをするならここである。

次に移動、“時が止まる歩道”とよばれている金沢の中心地とは思えないくらい自然が残されている“美術の小径”と“緑の小径”と“歴史の小径”を歩いてゆく。緑の木々に囲まれた人通りの少ない絶好の散歩道。ゆっくり歩いて感触をつかむ。次に“松風閣庭園”へここは兼六園作庭のお手本となった庭園です。ここもゆっくり味わう。素晴らしい場所である。

次に金沢出身の仏教・哲学者の鈴木大拙の考えや足跡を伝える施設“鈴木大拙館”。来館者が自由に思索できる空間、“水鏡の庭”がシンボルである。参加者各自はいかに思索されたことでしょう。

次に12：00石川県指定名勝の兼六園より120年も古い歴史を持つ庭園、西田家庭園（玉泉園）金沢最古の茶室を含め400年の歴史ある庭園をじっくり散策。ランチはこの玉泉園の敷地の一部にあるガーデンレストラン築200年の武家屋敷を現代的にアレンジした“かなざわ玉泉邸”にて庭園を眺めながら個室にて、地元食材を活かした抜群の“金沢料理”をいただく。素晴らしい言葉の連続で一同感激に浸る。部屋には支配人が来られ、玉泉園の歴史について詳しくお話しいただいた。最高の至福の時間であった。

つぎに、14：40加賀藩中級武士の屋敷“寺島蔵人邸”に移動する。家屋、土塀、土蔵、庭園、すべて素晴らしい。庭園には樹齢300年を越すドウダンツツジ十数本があり庭の様は絶景でした。つぎに、16：00金沢で最も長い400年の歴史を持つ酒蔵“福光屋”見学。酒造りに取り組む意気込みと酒造りについて生産本部副本部長 庄司氏よりご説明いただき試飲も楽しんだ。その後“仕込み水”の水場をご案内いただいた。

次に移動して、今宵の宿泊先：金沢カプセルホテル武蔵町にてチェックイン。夕食は片町のおでん三幸にて。

2日目 7：00ホテルロビー集合、朝から曇りがちの天気予報。バスにて金沢駅に向かう。駅にて各自朝食を取り、8：00駅レンタカーに集合。ここから2台にて能登半島に向けスタート。途中、高松P、別所岳Pにて休憩。さらに10：50能登千枚田到着。棚田“白米の千枚田”能登随一の人気スポットで、海岸のすぐそばまで田んぼがあり時間を取りながら実際に各田んぼをウォーキング。大小様々な1000を超える田んぼが存在。この中で2番目に小さい田んぼの大きさは一般的な洗面所の大きさの少し大きな感じであった。1番目の小さい田んぼを探したが見つからなかった。

次には、曾々木海岸の“窓岩”、“垂水の滝”をウォーキング。ランチは12：10“お食事処 庄屋の館”にて、能登ステーキ丼をいただく。やわらかいお肉とタレでまことに美々であった。

次に“すず塩田村”訪問。資料館にて塩に関する歴史や文化について学び揚げ浜式で塩作りをしている現場をご案内いただいた。次に能登半島最北端の岬にある禄剛崎の灯台でウォーキング。135年前に造られたが今も現役であるとのことが素晴らしい。

15時前ころから徐々に雨が降り出してきた。

次に15：15珠洲市三崎町の“珠洲焼の伏見窯”を訪問。石川県認定伝統工芸士でもある坂本市郎氏より珠洲焼について、歴史と現状をご説明いただいた。さらに移動して今宵の宿能登町“ラブロ恋路”16：45

3日目 8：00出発。昨日後半雨で止めた“恋路海岸”に立ち寄る。昨夜の雨も上がり。天気回復が解る今日も暑くなりそうな気配。



8：10～9：00まで“松波酒造”を訪問。若女将の金七氏より酒蔵をご案内いただいた。こちらでも酒造りについてご説明と試飲を楽しむ。皆さん朝からヤル気満々。このころから快晴に変化してきた。

次に移動して、穴水町の真言宗の古刹“明泉寺”9：45～10：30訪問。いまから1366年前に開創とのこと。境内に建つ高さ

6.8mの石造五重塔は国の重要文化財に指定されており住職の川元氏より堂内に残る平安時代の仏像や室町時代の古地図などについて、頼朝の墓などを詳しくご説明いただいた。能登の歴史の奥深さを感じました。



つぎに移動して、門前町のハイディワイナリー11：45～13：40訪問、オーナーで醸造家の高作氏より、ワイン造りにかける熱い思いをお話しいただき、ワイン造りの醸造現場とぶどう畑をご案内いただいた。併設のカフェレストランにてランチ。日本海を眺めながら美味しいワインとランチで至福の時間を過ごした。

次に能登金剛14：20～15：10“蔵門”景勝地であり険しい断崖と荒々しい波が打ち寄せる観光スポット。遊覧船に乗り、海から絶景を眺めた。次に千里浜なぎさドライブウェイ。日本海を眺めて3日間を振り返る。

17：10金沢駅で解散。

平成30年5月22日、23日、24日実施

天候 22日 晴れ、23日曇りのち雨、24日 晴れ

今回の企画の振り返り：

- ①訪問先、食事処、宿泊先と事前に綿密に打ち合わせができたこと。
- ②目的、訪問先を具体的に提案して、観光バスのいかないところ、比較的観光客のいかないところをポイントにしたこと。
- ③金沢らしい場所、訪問先や食事処にもこだわったこと。
- ④ツアー開始の前日に金沢に入り、訪問先を含め打ち合わせ・確認できたこと。

最後になりましたが今回の企画につき、3日間にわたり、訪問先、食事処、宿泊先、の皆さまご協力いただきまして大変お世話になりました。参加者の皆さまから大満足のお言葉をいただいております。この場を借りまして改めて厚く御礼申し上げます。